

長崎県における野田聖子大臣の車座対話（概要）

参考資料 2

開催日時：令和3年12月2日14:20～15:50
開催場所：長崎県庁（長崎県長崎市）
テーマ：DV被害者支援の強化
参加者：NPO法人DV防止ながさき、DV加害者更正プログラム研究会、DV被害者、長崎県庁・婦人相談所 等
（政府側）野田聖子大臣、林男女共同参画局長、
難波男女間暴力対策課長



主な意見

- ・ 通報や保護命令の対象を精神的暴力や性的暴力にも拡大してほしい。
- ・ NPOの支援活動は、財政的に不安定である。若い人の育成や支援者の生活の見通しを立てるためにも予算の恒久化が望ましい。
- ・ 全国でも長崎のように避難から生活支援を一貫して行う仕組みを整備してほしい。
- ・ 警察や市役所などの手続は被害者一人で行うには負担が大きく、NPOによる同行支援を行っているところであるが、手続の簡素化・迅速化が不可欠。
- ・ 避難生活が一定程度安定した段階で子供の問題行動が発生することがあり、子供の一時預かりや心理面での支援が重要。
- ・ 10代の頃から男女間の暴力を予防するための教育が必要。
- ・ 保護命令が発令される前から各種給付の支援を受けられるようにしてほしい。